

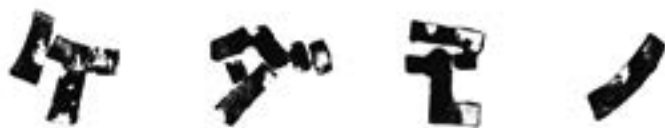
北のとびら

vol. 126

令和4年3月



特集 | 赤堀雅秋 interview



アート巡礼 渡島 / つくる人 in 函館市 ひづめみか〜る
ジモトデザイン 森町・いかめし阿部商店
伝わる文化 上磯奴 / ART FILE 小林龍一



ユニット第1作目「同じ夢」(2016) 撮影:細野晋司

—赤堀さんが演劇に目覚めた契機に富良野市在住で脚本家・劇作家・演出家の倉本聰さんの存在があるとか。

もう30年近く前、大学を中退して就職する気もなく、アメリカのサンノゼに3か月ほど滞在したことがあるんです。でも2ヶ

創作に目を開かせてくれた富良野在住の巨匠との出会い

月目くらいで猛烈なホームシックに襲われ、日本語にも飢え、サンフランシスコの紀伊屋書店へ行つて本を買い込んだ。当時、恥ずかしい話ですが、漠然と思いついていた展望が役者や芸人になること。戯曲や脚本のことが全く分からず、「シナリオ入門」という雑誌が目に入り、手に取りました。

—倉本作品は知っていました。

「北の国から」を見たことがあったので。その雑誌の巻末に当時未発表だった『學』仲代達矢、高杉真宙主演。2012年にWOWOWで制作・放映という作品が掲載されていて、シナリオを初めて読んだのに最後は感動で号泣してしまいました。

重い罪を犯し生きる気力

を失った少年が、カナダで暮らす祖父と大自然の中で再生していく物語ですが、文中「……」や「——」で示された間や呼吸が説明されずとも感じられ、登場人物たちのいる「絵」が脳内に浮かび上がってくる。繰り返し読んだ、劇作家未満の僕にとつての教科書です。

—「ケダモノ」には赤堀さん含む俳優の方々との話し合いから生まれた、ユニット的側面もあるそうですね。

それに、そもそも不完全な人間なので作家・演出家・俳優の三役の間で、やっとバランスが取れる。魅力的な俳優さんたちには、俳優としてぶつかりたいです。

その時、チャップリンの伝記も買って。彼は脚本・監督・主演に加え音楽まで手掛ける。そのカッコよさに単純に憧れた、ダメな若者です(笑)。だから、ここまで続けて来られたのは奇跡のよう。苦しいこともありすが、つくる喜びを感じ、創作を面白がり続けられる自分がある。戯曲の残り15ページくらいを「一気に書き上げる、あの快感は他に代えがたいものです。」

始まりは2016年に上演した『同じ夢』で、普段は呑み仲間の大森南朋さん、田中哲司さんと、共演してみたい俳優さんや、やりたい芝居の話をしていて。企画が進み始めた時、哲司さんに「赤堀君も一緒に出ようよ」と唆された(笑)。そんな酒場話が発端にも関わらず、二作目の『神の子』(19年)の上演ができ、「ケダモノ」はこのチームでの三作目。ただ楽しいだけでなく、南朋さん

赤堀雅秋プロデュース



PHOTO/引地信彦、細野晋司 TEXT/大堀久美子



巻頭特集
interview

赤堀雅秋

生きづらさを抱え、もがきながら生きる人間たちを生々しく描き、社会の歪みを鋭く問う作品で高く評価されている赤堀雅秋さん。その新作『ケダモノ』で、初の北海道公演を果たすことになりました。つくり手としての原点から、ものづくりに懸ける想い、北海道の思い出まで幅広いお話を伺いました。

信頼できる仲間がいる創作上の「ホーム」がある心強さ

と哲司さんは、僕の作品を非常に厳しい視線でジャッジしてくれるコワくも有難い存在で、このチームは自分にとって創作上の「ホーム」ですね。

— 作品の内容も伺えますか。

残念ながら台本はまだ1ページもありません(苦笑)。具体的な設定もお話してできるだけ固められていなくて。

ただここ数年、作品を一つ終えるたび、いつも「次の、違う段階へ行かねば」と感じているんです。年齢と経験を重ね、それなりの技量はあるというささやかな自負。そんなものに安住することなく、チャレンジし続けるための衝動、その象徴がタイトルの「ケダモノ」という言葉かも知れません。人間も所詮は動物、そんな、ありきたりだけれど根

源的な視点で物語を紡ぎたい。すべての予定調和をぶち壊したいという乱暴な気分でもありますね。

— 北海道で赤堀さんの作品が上演されるのは初です。

2019年に札幌で戯曲講座をさせていただいたことがあるのですが、ツアーで伺うのは初めてで



す。地域では他に、広島で現地の演劇人たちと1ヵ月近く滞在しながら創作・公演をしたことがあります。が、各地にそれぞれの演劇シーンや観客層があり、そこに僕自身が胸を張って「これが面白い、自分の考えるイイ芝居」を届けたいと常々思っているんです。今回の札幌公演はその第一歩。この作品に出会って



ユニット第2作目「神の子」(2019) 撮影:引地信彦

ただくことが創る人も観る人も含め、札幌の演劇環境にとつての刺激になるなら嬉しい限りです。

— コロナ禍、演劇ファンにとつても新たな創り手や作品との出会いは貴重です。

この2年余、日本に限らず世界中のあらゆることが停滞し、窮地に陥っている。

数多の物事から、自分で選び取ったもので暮らしを構築するのは僕らにとつての当たり前。権利なのに、その多くを奪われたこの期間。でもだからこそ自分には、この間に「人としてどういう姿勢で居るか、生きるか」を考えることができると。頑ななまでに「流されるものか、変わってしまるか」と思い続けた結果、自分の中で強く強くなった演劇や創作への想いが、「ケダモノ」に反映される気がします。

— 演劇や仕事以外の「北海道の思い出」があれば聞かせてください。

20年くらい前、奥さんがいた時期がありました。その時、富良野へ旅行しました。ラベンダーの咲く季節に、「北の国から」の劇伴のCDを掛けながら富良野をドライブする。奥さんは

窮地にある今だからこそ「変わらぬ想い」を作品に投影する

「北の国から」に何も思い入れがないのに僕だけ陶醉していたという(笑)。その旅中、地元の定食屋さんで食べたホッケの旨さは衝撃的で、鮮烈に記憶に残っています。食材王国ですから、北海道の美味しいものは今回も是非いただきたいです。

— 最後に、お客様にメッセージをお願いします。

旅公演をする際、東京で創り・公演したサイズよりも大きなホールで上演しなければならぬことがままあります。でも、作品本来の手触りができるだけ変わらぬよう届けたいという想いが切実にあり、今回はそのことを準備段階から入念に話し合っただけで、初めての作品です。その志をお客様に体感・共有していただき、今回は札幌と大阪二都市のツアーですが、

この先もつと多くの町と劇場を、国内外問わずに回れるような体制を整えていきたい。そのためにも札幌公演は重要で、一人でも多くの方にご覧いただけたら、と。ご来場を心よりお待ちしております。

赤堀雅秋 (あかほり・まさあき)

1971年8月3日生まれ、千葉県出身。劇作家、脚本家、演出家、俳優。1996年SHAMPOO HAT(現THE SHAMPOO HAT)を旗揚げ。作・演出・俳優の三役を担う。人間の機微を丁寧に紡ぎ、市井の人々を描く独特な世界観は赤堀ワールドと称され、多くの支持を集めている。第57回岸田國士戯曲賞を「一丁目ぞめぎ」(上演台本)にて受賞。初監督作品「その夜の侍」(12年)では同年の新藤兼人賞金賞、ヨコハマ映画祭・森田芳光メモリアル新人監督賞を受賞。モントリオール世界映画祭(ファースト・フィルム・ワールドコンペティション部門)、ロンドン映画祭(ファースト・フィーチャー・コンペティション部門)、台北金马奨映画祭などに正式出品され、各方面で話題になり、16年監督第2作目「葛城事件」では主演の三浦友和を数々の映画賞へと導いた。



ケダモノ

公演日時 2022年5月14日(土) 13:00開演 18:00開演
15日(日) 13:00開演

会場 かでるホール
札幌市中央区北2条西7丁目
道民活動センタービル「かでる2・7」1階

料金 前売・当日共 8,000円(全席指定・税込)
U-30チケット 3,500円(全席指定・税込)
※U30=30歳以下対象・枚数限定・要身分証明書。エマテケのみでの販売となります。当日券はありません。

2022年4月3日(日)より一般発売スタート 全席指定

【作・演出】赤堀雅秋
【出演】大森南朋、門脇麦、荒川良々、あめくみちこ、清水優、新井郁、赤堀雅秋、田中哲司
<http://comrade.jpn.com/kedamono/>

TEL:011-272-0501(土日祝除く9:00~17:30)
TEL:011-622-9999(土日祝除く10:30~17:00)

●公演に関するお問合せ/公益財団法人北海道文化財団
●チケット販売に関するお問合せ/チケットインフォメーション

【主催】公益財団法人北海道文化財団 【協賛】株式会社ジェーシービー 【制作協力】ダブルス

09 焼失した松前城を資料館として昭和36年に再建
松前城資料館



日本最北の城「松前城」に松前藩や北前船等の資料を展示しています。4月10日(日)からは「松前藩復讐200年特別展示」を開催。松前藩の家老だった画人・蠣崎波響の軸など見所満載です。

- 住所 / 松前町字松城144 ●TEL.0139-42-2216
- アクセス / 函館バス「松城」停より徒歩10分・JR木古内駅より車で80分
- 開館時間 / 9:00~17:00(最終入館は16:30) ●休館日 / 12月11日~4月9日まで冬期閉館
- 入場料 / 大人360円、子供240円 ●駐車場 / あり

08 旧白符小学校の校舎に設置した展示ギャラリー
福島町チロップ館



廃校を利用した展示ギャラリー。福島町館崎遺跡から出土した縄文土器や民俗資料などを展示しています。1000体を超える雛人形が並び、「ひな・武者人形まつり」を開催中(5月8日(日)まで)。

- 住所 / 福島町字白符442 ●TEL.0139-47-3675(福島町教育委員会)
- アクセス / JR木古内駅から車で約60分・函館バス「白符」停から徒歩約10分
- 開館時間 / 10:00~15:00 ※土曜・日曜・祝日は16:00まで
- 休館日 / 火曜・金曜(祝日の場合はその翌日) ●入場料 / 無料 ●駐車場 / あり

07 知内出身・横山朝寛の絵画を展示
矢越山荘



矢越山荘がある小谷石地区出身のアーティスト・横山朝寛の作品を展示。登山の拠点としても利用されていて、秋には餅づくり体験やモノクラブスなど体験型のイベントも開催します。

- 住所 / 知内町字小谷石514 ●TEL.01392-5-6161(知内町役場矢越山荘担当)
- アクセス / JR木古内駅から車で約25分・函館バス「小谷石」停から徒歩15分・函館市内より車で約60分
- 開館時間 / 土曜・日曜・祝日9:00~17:00 ●入場料 / 無料 ●駐車場 / あり

06 幕末の軍艦「咸臨丸」のものと見られるイカリを展示
木古内町郷土資料館



閉校した校舎を利用して、町内外の有志より収集・寄贈されたものを中心に、縄文遺跡や鉄道関連資料など約1800点を展示。幕末に活躍して、当町で沈んだ咸臨丸も紹介しています。

- 住所 / 木古内町字鶴岡74-1 ●TEL.01392-2-4366
- アクセス / JR木古内駅より車で5分、徒歩30分
- 開館時間 / 9:00~16:00 ●休館日 / 月曜(祝日の場合は翌日)、年末年始
- 入場料 / 無料 ●駐車場 / あり



刺激がいっぱい
渡島のアートのスポット

※新型コロナウイルス感染症の状況によって掲載されている
営業時間やイベント開催日時等が変更になる場合があります。



渡島巡礼で
探すアート

01 長万部空き店舗プロジェクトで旧書店を一新!
みんなのおうち



『みんなの夢が叶う場所』をコンセプトに築50年の本屋を改修した交流の場。地球環境、アート、アウトドアの3本をメインに随時イベントを開催しています。学生によるシャッターアートも公開中。

- 住所 / 長万部町字長万部108-5 ●アクセス / JR長万部駅より徒歩1分
- 営業時間 / イベントによる ●駐車場 / あり
- ※イベント情報等はFacebook等でご確認ください(長万部空き店舗プロジェクトで検索)

02 変幻自在のオルタナティブスペース
カミヤクモ321



元蕎麦屋の古民家をリノベーションしたフリースペース。古物屋カフェ、マフィン店、ベーグル屋など曜日や時間でお店が変わります。コンサートや映画会、マルシェほかイベントも多数開催。

- 住所 / 八雲町上八雲321 ●TEL.090-6125-0207
- アクセス / 八雲市街より車で15分
- ※開館日・開館時間ともにInstagram、Facebookまたは電話で要確認

03 自家焙煎コーヒーや音楽が楽しめる
自然の森 喫茶 夢紀行



豊かな自然の中に建つ自家焙煎コーヒーとおやつのお店です。ワークショップや音楽ライブなど様々なイベントを開催することも。珈琲の味と香りを楽しむ「焙煎体験」も始めました。

- 住所 / 鹿部町本別539-165 ●TEL.01372-7-5210
- アクセス / 鹿部駅より徒歩20分・鹿部町街より車で5分
- 営業時間 / 日の出から日没まで ●定休日 / 不定休 ●駐車場 / あり

05 音響設備が自慢の音楽を楽しむカフェ
サウンド・スペース・チャボ



まちの電器屋さんが自慢の音響設備を揃えて開いた音楽カフェ。毎月第2、第4金曜日は19:00から87歳の男性ピアニストによる生演奏ライブを開催しています。ハンバーグやカレーなど軽食も提供中。

- 住所 / 北斗市本町2丁目1-41 ●TEL.0138-83-5030
- アクセス / 新函館北斗駅より車で8分
- 営業時間 / 11:00~17:00(金曜は22:00まで) ●定休日 / 日曜、月曜 ●駐車場 / あり

04 世界を歩き描き続けた画家
木村捷司記念室



七飯町に設けたアトリエを拠点に、60年に渡って国内外の風景や人々を描き続けた洋画家・木村捷司。館内には所蔵作品の中から毎年掛け替えて、60点ほどを展示しています。

- 住所 / 七飯町鳴川1-2-4 ●TEL.0138-65-2324
- アクセス / 函館市街地より車で20分・JR七飯駅より車で5分
- 開館時間 / 11:00~17:00(5月~10月末までの毎週日曜のみ・要予約)
- 駐車場 / あり ●入場料 / 大人:500円、高校生以下無料

日常に溶け込むデザインの魅力に迫る！



▶生イカの胴にうるち米ともち米を詰めて、甘辛のたれでじっくり炊き上げた、いかめし阿部商店の「元祖 森名物 いかめし」

北海道の名物駅弁
「元祖 森名物 いかめし」

朱 色に白抜きで描かれた「いかめし」フォントのレトロな佇まい。対角線上に配置された波とイカをモチーフにした図柄の可愛らしさ。少ない色数ながらも、インパクトと懐かしさが同居するこの魅力的なデザインは、森町を拠点とするいかめし阿部商店が製造する「いかめし」の掛け紙です。



▶一番最初の掛け紙。右上に「一億 一歩調」という戦時下標語が書かれている

同社の創業は1903(明治36)年。森町の開業に合わせて駅構内営業の許可を得て、当時経営していた阿部旅館内に「阿部弁当部」を発足したのがはじまりです。



▶掛け紙デザインの誕生と同じくらい古くからあるという「いかめしボーイくん」。顔の部分は煮込んだイカをイメージしたものの

いかめしの誕生は1941(昭和16)年のこと。第二次世界大戦中の食糧統制によって深刻化する米不足の中で、創業者の阿部恵三男さんの妻・静子さんがお米を節約した駅弁として考案したのが「いかめし」でした。最初の掛け紙は、お米が詰まったいかめしのイラストに戦時下標語が書かれたデザイン。

▶ロゴを生かした関連グッズは、通販サイトで購入可能！



▶三代目社長の今井麻椰さん。幼い頃から慣れ親しんでいた掛け紙デザインは「レトロで可愛く、歴史あるデザインを変えずにずっと続けていきたい」と今井さん。Tシャツも数種類あり、こちらも通販サイトで販売中！



いかめしは戦地に向かう兵士たちから「腹持ちが良い」と大好評でした。

その後、昭和30年頃に現在の掛け紙デザインに。1913(大正2)年創業の函館の印刷会社「ハコー印刷」の社員がデザインしたパッケージが、60年以上に渡り使用されています。

変わらないのは、デザインではありません。いかめしのサイズに合わせて作られたという容器は同社のオリジナルサイズ。この容器の大きさもまた、ロゴと同じく不変であり続けています。

駅構内での販売から始まったいかめしは、二代目の今井俊治さんが実演販売に力を注ぎ、全

国の百貨店や催事場を飛び回ったことで、認知・人気を拡大。2020年に三代目を継いだ娘の今井麻椰さんもまた、コロナ禍の中で通信販売をスタートさせ、おかきなどの新商品やグッズを展開するなど、挑戦は続いています。

昭和、平成、そして令和。流れゆく時代の中、新たな展開に向けて積極的に取り組みながらも、同社が大切にしているのは「味」と「見た目」を守り続けること。いかめし阿部商店の掛け紙には、積み重ねてきた老舗の歴史と矜持があります。



雑貨デザイナー・イラストレーター ひづめみか〜る

日 本の「かわいい」を牽引する雑貨ブランド「SWIMMER(スイマー)」。22年間、看板デザイナーとして活躍したひづめみか〜るさんがブランドの終了をきっかけに、「今後のことをゆ〜り考えてみよう」と、故郷の函館に戻ったのは6年前のことです。

洋裁・和裁の学校を営む家庭で育ち、幼い頃から着てみたい服の絵を描いて母親に作ってもらった「欲しいものは自分で作る」ことが当たり前だったみか〜るさん。キャラクター入りのハンカチや小物を紙で再現することも大好きで、小学校高学年の時、作品を見た担任教師の「将来、仕事にできたらいいね」という言葉に「いついっことが仕事になるんだー」と新鮮な驚きを覚えたそう。

描くこと、作ることに楽しさ、そして、それが仕事になることを知ったみか〜るさんは、再び函館



ひづめみか〜る
女子美術短期大学卒業。1995年よりスイマーのデザイナーとして活躍し、現在は函館を拠点に活動中。2020年より新生スイマーのディレクター&デザイナーに就任。毎週土曜日、FMいるかでレギュラー番組も放送中。
●スイマー公式WEB
<https://www.patlys.jp/swimmer>

の街に戻り、東京、大阪での個展を経て、2017年に函館高屋書店でイベントを開催。「イベントを通して、スイマーや私の存在を知った方が声をかけてくれるようになりまし」と言うように、FMいるかのラジオ番組出演や地元菓子企業のパッケージデザイン、「北海道・東北の縄文遺跡群」をPRする菓子やラッピングバスのデザインなど、徐々にみか〜るさんの世界が街に広がっています。

「懐かしい風景や、港から聞こえる船の音が心地よく、函館は時間がゆっくり流れています」と話すみか〜るさんは、「スイマー時代に制作した帽子スタンド(写真・右)が、函館の老舗銭湯の屋根と壁の配色と同じだったことに気がつきました。

年齢も、性別も、環境も越えて、みか〜るさんの「かわいい」が広がっています。

早く来れますよ！」。

年 齢 も、性 別 も、環 境 も越えて、みか〜るさんの「かわいい」が広がっています。



写真提供/函館バス



動物や仏像から得る「感覚」を動物のモチーフで表現

子 供時代のお気に入り
は動物図鑑や動物の
フィギュア。大きかったり、小さ
かったり、さまざまな模様があつた
り。動物たちの個性豊かなビジュ
アルやキャラクター性に、強く魅
かれていました。生まれ育った南
区は、札幌の中でも比較的自然
が豊かな場所。近くの山を訪れ
ては、植物と触れ合いながらの
びのびと遊んでいました。

動植物をモチーフにした作品
が多いのも、こうした子供時代
の経験が影響しているのだと思
います。

動物を観察している時に不
思議と穏やかな気持ちになる
「感覚」と、お寺で仏像を見て
いる時に感じる神秘的で静寂に
包まれる「感覚」。語りかけてく
るわけではないけれど、動物や仏

像から何か不思議なものを感じ
取ることができるという点で、こ
の両者から得る「感覚」はとても
良く似ています。

今回の個展「穏やかな静寂」
では、私のこうした「感覚」を、好
きな動物をモチーフに表現して
います。

上の作品から、仏像を見てい
る時に感じた不思議な感覚の
表現(左)、どこからきてどこへ向
かうのかというメッセージを含め
た反転とループ(中央)、同じ形
のものが整然と並ぶことの面白
さの中に潜む不気味さ(右)な
ど、可愛らしさだけではなく、それ
ぞれの意味深なメッセージを感
じてもらえると思います。

私はアーティストとして個人で
の作品づくりをする一方で、グ
ラフィックデザイナーとしてクライ

アントのいる仕事をしています。
個人での作品づくりは、自分
でテーマを考えて自由に表現で
きる楽しさがあり、クライアント
ワークはお客様のイメージを引き
出しながら、一緒に物を作り上
げていく楽しさがあります。ス
ポーツで例えるならば、個人の
仕事はマラソンや短距離走で、
クライアントワークはサッカーや
バスケットなどのチームスポーツに
近い感覚です。両者とも何かを
表現した先には第三者がいて、
私はその人たちに感動を与えた
い、楽しんでもらいたい、という思
いを大切にしながら日々活動し
ています。

日々の暮らしは、自分自身を
形成する大切な基盤。都市が
あり、美しい自然があり、新鮮な
食材で美味しいご飯が食べられ

る札幌は暮らし心地の良い街で
す。自身の毎日を豊かにしてくれ
るこの街は、アート活動をする上
でもとても良い環境だと感じて
います。



小林 龍 一

1988年生まれ、札幌市在住。デザイン制
作会社数社を経て、フリーランスのグ
ラフィックデザイナー、イラストレーターとし
て活動。アートワークとして年に数回グ
ループ展や個展を開催。イラストを「紙」と
「布」のアイテムに落とし込んだデザイン雑
貨「こぼや紙」も好評。

●公式WEBサイト
<http://ryuichi-kobayashi.com>
●こぼや紙
<https://ryuichi-kobayashi.shop>

VR展示は
QRコードからも!

詳しいSTORYはWEBで



「上磯奴」は約170年前に旧上磯町(平成18年
に大野町と合併し現在は北斗市)に伝わったと言
われています。上磯奴の原型は寛永12
(1635)年、江戸幕府の武家諸法度による諸
国大名の参勤交代の「大名行列」です。

入
場
無
料

北海道文化財団アートスペース企画展 vol.49

小林龍一個展「穏やかな静寂」

2022.3.7~6.30 9:00~17:00 ※土日祝休館 ※都合により臨時休館する場合があります。

場所/札幌市中央区大通西5丁目11 大五ビルヂング 3F 問い合わせ/011-272-0501

VR展示公開中!

<https://my.matterport.com/show/?m=8agRY9djp5>

新進アーティスト育成事業

●希望の大地の戯曲賞「北海道戯曲賞」

全国に門戸を開き、次代を担う劇作家や優れた作品を発掘するとともに、道内外の作家が互いに競い合うことにより、北海道における演劇創作活動の活性化を図ることを目的に設立された「北海道戯曲賞」。今年度は全国から137本の応募があり、最終選考会にて審査員が議論を重ねた結果、大賞に南千住回遊野外劇『リアの跡地』(葎本未織/兵庫県)が選ばれました。なお、優秀賞は該当作品がありませんでした。

●大賞(賞金50万円/記念楯)

大賞作品:南千住回遊野外劇
『リアの跡地』

作:葎本 未織さん(兵庫県)

1993年生まれ。神戸を中心とした関西圏と東京の2都市で活動する劇作家・フェミニスト。少女都市主宰。gekidanU・うさぎの喘ぎ所属。2歳の誕生日に阪神・淡路大震災で被災。生家が全壊し、仮設住宅で育った。その経験から、社会的弱者を主役に、抑圧への抵抗・困難からの克服の物語を、当事者意識をもって上演している。2015年『聖女』で第60回岸田國土戯曲推薦。2018年『光の祭典』で平成30年度アイホールbreak a leg選出。どちらもPTSDに苦しむ女性を主役に、震災と性暴力の被害を重ね合わせ、心の復興を描いた。2021年より南千住を拠点に活動するgekidanUに所属。また、#KuToo署名発信者でアクティビストの石川優実氏、NPO青い空一子ども・人権・非暴力と共同で、国際女性デーによせて『バレンタインデーにみんなで踊ろうブレイクザチェーン』を開催(豊島区共催)。演劇やダンスを通して、暴力の無い社会を実現するための活動を続けている。



撮影:小嶋謙介

●優秀賞 該当作品なし

【応募総数】137本

【最終審査日】2022年3月2日(水)

【最終審査員(五十音順)】

江本 純子(毛皮族・財団、江本純子)
桑原 裕子(KAKUTA)
斎藤 歩(札幌座)
瀬戸山 美咲(ミナモザ)
古川 健(劇団チョコレートケーキ)

※受賞作品及び審査員の選評は、北海道文化財団ホームページ・北海道戯曲賞(<https://haf.jp/gikyoku.html>)で公開しています。

アート選奨K基金事業

●アート選奨

北海道文化財団では、磯田憲一氏からの指定寄附を基に、アート選奨K基金を創立。本道の芸術文化の振興発展にとって「敬愛」すべき役割を果たしたと認められる個人・団体にアート選奨を贈呈しています。令和3年度を受賞者は、松村隆さんに決定しました。(賞金10万円/記念楯)

松村 隆さん(江さし草会代表)

1926年江差町生まれ。江差町職員、江差追分会館館長を経て、現在、江差追分会相談役、「文芸江さし草」代表、(一社)函館文化会会員。著書:「江差追分ひと模様」「たば風に唄う」「追分人間模様」ほか多数。2021年「江差花街風土記」を文芸社から発行

人づくり一本木基金(長原賞・ステュレ・エング人づくり基金)事業

●ものづくり一本木選奨

「人づくり一本木基金」の顕彰事業として、工芸美術及びものづくり等の分野における人材育成と創造活動の振興発展のため、道内在住又は道内出身者で、その向上発展に関し功績が顕著な個人及び団体等に「長原賞/地域貢献賞/奨励賞」を贈呈しています。令和3年度は、岡本巧さん、山口智大さんに「奨励賞」を贈呈しました。

◎奨励賞(賞金10万円/記念楯)

岡本 巧さん(幕別町/建具工/(有)高橋加工部勤務)

北海道立帯広高等技術専門学院造形デザイン科修了後、現勤務先に入社。在学時に技能五輪全国大会で建具に出場し、銀賞受賞。翌第58回大会で金賞を受賞。令和3年に青年優秀技能者表彰を受ける。第46回技能五輪国際大会(中国・上海開催)で建具への出場が内定。

(※(有)高橋加工部の技能五輪全国大会での金賞受賞者は延べ5人目)

山口 智大さん(旭川市/家具職人/(株)ガージーカムワークス勤務)

埼玉県出身。ものづくり大学建設学科卒業後、現勤務先に入社。第10回若年者ものづくり競技大会の木材加工で銀賞を受賞。技能五輪全国大会で家具に3回出場し、初回到銀賞を獲得。第55回、第56回では連続して金賞を受賞し、史上初の2連覇。第45回技能五輪国際大会(ロシア・カザン開催)の家具で敢闘賞を受賞。

(※(株)ガージーカムワークスは技能五輪全国大会での金賞受賞者3人が在籍)

INFO

WEBマガジン「北のとびら」創刊。冊子にはない情報も!ぜひご覧ください。

WEBマガジンはこちらから! <https://haf.jp/kitanotobira/>

